

UNIXサーバー版 バージョンアップ内容 (Ver6.13R00 → Ver6.13R01)

2004年4月28日
パナソニック ソリューションテクノロジー(株)

- ・UNIXサーバー版が Ver6.13R01 にバージョンアップされました。
変更点は以下のとおりです。

機能改善

GlobalFamily SERVER 全般

環境設定	ActiveDirectory 認証機能の設定に対応しました。 詳細は「GlobalFamily UNIXサーバー版 運用手順書」をご参照ください。 なお、ActiveDirectory 認証はGlobalFamily 4.0R09以降に含まれている機能です。
環境設定	外部宛自動転送設定に“宛先チェックフラグ”を追加しました。 外部宛自動転送設定されているユーザーでも外部宛メールの宛先が指定するドメインに対しては自動転送されません。 詳細は「GlobalFamily UNIXサーバー版 運用手順書」をご参照ください。

GlobalSchedule

GlobalSchedule 全般	仮予約通知メールおよび会議開催通知メールの日時期間表記を「2004/04/XX 10:00 -> 2004/04/XX 11:00」より「2004/04/XX 10:00 -- 2004/04/XX 11:00」に変更しました。
up_81a050	スケジュール削除で、該当スケジュールが更新中の場合、本人以外には削除できないようにしました。
up_81a570	スケジュールグルーピングコード一覧で、「全部」を選択された場合のレスポンスを改善しました。

GlobalDoc

機密文書 セキュリティ対応	GlobalFamilyオプション「GlobalDoc SAFER」Ver2.00 に対応しました。 文書作成時点の情報漏洩防止を強化した“暗号化ファイル登録機能”が追加されました。 ご利用には別途「GlobalDoc SAFER」が必要です。
up_e891	キャビネット、フォルダー、文書それぞれにおいて、登録・更新権を持つユーザーによって機密文書の移動/複写が行えないよう、修正しました。

ユーティリティ

fm_dlog_board fm_dlog_folder	ファイル履歴ログについて、掲示板・フォーラム・フォルダー毎に出力するユーティリティを追加しました。 詳細は「GlobalFamily UNIXサーバー版 運用手順書」を参照ください。
---------------------------------	--

い。

ツールキット

tk_ucug	ユーザー/グループ情報の登録/更新/削除 ツールの処理区分「0C」(ユーザ処理情報)で、指定された英字氏名が空白の場合、英字名(First)と英字名(Family)を空白で連結して設定するように変更しました。 詳細は「GlobalFamily UNIX/NTサーバー側ツールキット(DB構築ツール)」をご参照ください。
---------	--

SMTPゲートウェイ

piostospool piostounix unixtopios	スリープ間隔の設定で秒単位の指定を可能にしました。 詳細は「SMTPゲートウェイ サーバー側導入・運用手順書」をご参照ください。
up_2430 up_2433 up_2440 up_2443 up_812040	自動転送先許可ドメイン制限設定に指定できる許可ドメインリストの有効登録バイト数を2048バイトに拡張しました。 また、許可ドメインリストのファイル指定に対応しました。 詳細は「GlobalFamily UNIXサーバー版 運用手順書」をご参照ください。

リアルタイムウィルスチェック

up_bg	ウィルスパターンファイルの更新時に、古いパターンファイルを削除するようにしました。 最新と1つ前のバージョン以外のパターンファイルは不要ファイルとして削除されます。
-------	---

不具合修正

GlobalFamily SERVER 全般

up_812040	未使用期間経過ログイン制限で運用されている場合、未使用期間経過したユーザーを管理者が更新しても、ログインできないままとなっていた不具合を修正しました。
up_813040	グループ更新の処理途中でタイムアウト等で最後まで処理できなかった場合に、下位グループメンバーから削除される場合がある不具合を修正しました。
up_813060	グループ情報参照で、管理者および所属グループが293件までしか表示されない不具合を修正しました。

GlobalMail

up_5062 up_5162	メール参照時のアドレス(URL)を使用すると、他ユーザーのメールであった場合でも参照できてしまう不具合を修正しました。
	GlobalFamily Windowsクライアントでメールを参照する際、メールフォ

up_5051 up_5161	一マットのバウンダリ文字列に余分な空白が付いていると、メールを正しく表示できない不具合を修正しました。
up_5570	ユーザーおよび所属グループを削除された固定書式を、システム管理者が表示するとエラーになる不具合を修正しました。

GlobalSchedule

up_81a040 up_81a041 up_81a042 up_81a044 up_81a051 up_81a840 up_81a850	毎月(曜日指定)の定例仮予約通知メールおよび定例会議開催通知メールに週情報「第x」が表示されない不具合を修正しました。
up_81a060	スケジュールの参照でセキュリティが多数登録されている場合、正しいセキュリティが表示されない不具合を修正しました。
up_81e570	スケジュールモードの参照でセキュリティが多数登録されている場合、正しいセキュリティが表示されない不具合を修正しました。 同様に、スケジュールコードの参照で、セキュリティが多数登録されている場合、セキュリティが正しく表示されない不具合を修正しました。
up_81e540 up_81e570	スケジュールモードで最大設定日の個別情報の件数が多い場合、最大設定日の個別情報を正しく登録・参照できない不具合を修正しました。
up_81a468	モード指定コード一覧参照で該当するコードの件数が多い場合、システムエラーが発生してしまう不具合を修正しました。
up_81a640	スケジュールグルーピングコードの登録で、メンバー数が多い場合、後半のメンバー情報が登録できない不具合を修正しました。
up_81a560	スケジュールグルーピングコードの参照で、メンバー数が多い場合、後半のメンバー情報が参照できない不具合を修正しました。

GlobalDoc

up_e460	機密文書のセキュリティ設定において、参照権と一覧権ともに含まれる設定がされたユーザーでは、設定した機密文書セキュリティとは異なる動作をする不具合を修正しました。
up_e892	キャビネット・フォルダーの履歴ログの設定において、文書に関する履歴の取得項目を“更新、削除”に設定していた場合、文書の移動処理を行うと「ディスクが一杯でデータを書き込めません」のエラーが発生していた不具合を修正しました。

GlobalDoc,GlobalForum

up_e4a3	文書検索、キーワード検索において検索対象に本文にアクセスできない文書が存在すると、「サーバー側ファイルに書き込めません。」
---------	---

のエラーが発生する不具合を修正しました。

GlobalFlow

up_81fc72
up_81fc73

完了後の起案テンプレート・プロセスに指定されていたマスターテンプレートおよびプロセスが削除されていた場合、完了書類一覧からの再起案ができない不具合を修正しました。

up_81fc70
up_81fc72
up_81fc73

個人進捗一覧およびグループ進捗一覧で、サーバー設定が「回付書類名に通し番号を付加しない」となっている場合でも、通し番号が表示される不具合を修正しました。

up_fb30

保存種別が「両方保存」のインスタンスで、サーバー設定が「回付書類名に通し番号を付加しない」となっている場合でも、文書名に通し番号が付与される不具合を修正しました。

up_fb30

起案インスタンスの直後がメールインスタンスで、CSVまたはXML出力指定されている場合、起案または保留できない不具合を修正しました。

up_fb30

文書変換指定されているキャビネット・フォルダーに対して、ワークフローで文書保存しても文書変換されない不具合を修正しました。

up_fb30

テンプレートで「両方保存する」と指定されている場合、保存ボタンから保存文書名を指定しても書類名で保存される不具合を修正しました。

up_fb30

通過書類を開いた状態で画面を放置し、この間に他ユーザーが書類を呼戻しを行うなど、呼戻し不可の状態でも呼戻しができる不具合を修正しました。

up_fb30

分割保存／両方保存で添付ファイルがフォルダー容量を超過している場合、エラー通知しない(保存ファイルはできていない)不具合を修正しました。

up_fb30

起案・遂行を行った際、不要となった文書を削除していない不具合を修正しました。

up_fb30

マスターテンプレートを更新・削除すると、それまでに起案されていた書類が分岐できなくなる不具合を修正しました。

up_fb32

起案時にエラーが発生した書類(グループ管理画面からは処理中の状態で残っている)を強制完了させると無限ループに陥る不具合を修正しました。
今後、この状態の書類は、強制完了を実行すると「遂行できません」のエラーが表示されます。抹消するためには強制削除を実行してください。

up_bg

個人デッドラインに強制否認または督促メールを指定していた場合、期日を超過しても処理されない不具合を修正しました。

ツールキット

ユーザー/グループ情報の登録/更新/削除 ツールの処理区分

tk_ucug

「0C」(ユーザ処理情報)で、休止情報が空白のケースで休止情報が不定値になる不具合を修正しました。
空白の場合は、0が指定されたものとして扱います。

SMTPゲートウェイ

up_2430
up_2433
up_2440
up_2443
up_812040

フォワード設定において、複数宛先を設定した場合に自動転送先許可ドメイン制限設定の許可ドメイン以外を設定できてしまう不具合を修正しました。

unixpios

複数ドメイン受信可能なSMTPゲートウェイで存在しないメールを送信していた場合に、「User unknown」ではなく「System error」メールで返信していた不具合を修正しました。
なお、この不具合はWindows版、Linux版のみ発生します。

リアルタイムウイルスチェック

unixpios

SMTPゲートウェイでのウイルスチェックでウイルスを検出した場合に、「ウイルス警告メール」ではなく「System error」メールで返信していた不具合を修正しました。
なお、この不具合はWindows版、Linux版のみ発生します。

ユーティリティ

chg_domain
chg_code

chg_domain、chg_code で変更された管理地域コードが、スケジュールモードの最大設定日情報に反映されない不具合を修正しました。

機能変更

リアルタイムウイルスチェック

unixpios

リアルタイムウイルスチェックのウイルス警告メールで、元メール全情報をテキスト化して添付していましたが、ヘッダー情報のみを添付するように機能変更しました。